

令和4年度

事業報告書

特定非営利活動法人 CWS Japan

1 事業の成果

本事業年度は世界的に大規模災害が続き、緊急支援を行うとともに、度重なる災害リスクを削減する為の防災力向上事業を展開した。CWS Japan が持つ世界的なネットワークも駆使し、迅速かつ将来の災害リスクを削減する活動の計画に重きを置き、事業を立案できた。現地パートナーとの良好な関係性を基盤として、現行の事業においては概ね計画通りに事業実施を行う事が出来た。

■ 緊急支援事業

<エキュメニカル防災・災害支援：ACT Japan Forum>

CWS Japan が事務局を担う ACT Japan Forum は、国内緊急災害支援に加え、平時からの連携パートナー支援体制構築・防災普及啓発を主目的として活動している。新型コロナウイルス感染拡大以降中止していた県外出張を今年度より再開した。先ずは四国・北陸の関係教会および地元 NPO 法人を訪問し、ネットワーキング活動を行った。2022年9月に発生した台風15号の影響による豪雨被害を受けた静岡市において地元教会関係者、生活困窮者支援 NPO 法人と連携し、電化製品と生活物資配布を通して緊急災害支援を行った。

<ミャンマー人道危機支援>

ミャンマー及びタイにおいて、人道危機に直面しているミャンマー避難民のニーズに対応することを目的とし、主に(1)食料及び非食料アイテム(NFI)の給付、(2)教育支援、(3)基本的な緊急ニーズを満たすための現金給付を行った。

<アフガニスタン緊急人道支援>

アフガニスタンでは、紛争や自然災害(干ばつ、洪水)の影響による農産物の減産や価格高騰に加え、2020年以降は新型コロナウイルス感染症(以下「COVID-19」)の影響が重なり、深刻な食料危機に見舞われている。当会は前例にない人道危機に対して、バーミヤン県、パクティカ県、ナンガルハル県において緊急支援を行った。最も貧しい地域の一つであり、その地形的特徴から、冬の気候が厳しく、洪水や干ばつなどの災害を誘発する地域でもあるバーミヤン県にて、脆弱性の高い層を対象に人道的ニーズおよび気候変動に伴う中長期的なニーズに対して支援を行った。上記に加え、2022年6月に発生したアフガニスタン東部地震に対し、当該被災者が、安全に暮らすことができる住宅を再建することを支援し、余震にも耐えうる、より強固な耐震構造で設計される住宅に関する防災研修を実施した。また、ナンガルハル県では前例にない食料危機の影響を受ける住民604世帯に対し、主に食料品入手のための現金配布を行い、人々の食料へのアクセス不足の向上に寄与した。

<フィリピン台風ライ被災者支援>

2021年12月16日～17日にかけてフィリピン中部をおそった台風ライ(日本名:台風22号)は、死者・行方不明者が500名近くにのぼり、多くの家屋を破壊し、数十万人の住民の深刻な影響を及ぼした。被害が最も深刻な地域の一つのレイテ島南部で支援を2022年2月～10月に実施した。住宅再建のための現金給付、心理社会的サポート、給水ポイント建設、住民の災害対応能力強化ワークショップなど、地域のレジリエンスを高めることを目的として多角的な支援活動を実施した。住宅再建支援を受けた300世帯を含む3,000世帯に支援を届けた。

<パキスタン洪水支援>

2022年6月以降、モンスーンがもたらした降雨によりパキスタン国土の約3分の1が水没するほど大きな被害を出した。最も被害が大きかった州の一つであるシンド州で2022年11月～2023年3月にかけて被災した世帯の中でも特に社会的脆弱性が高い1,100世帯に対して、食料を含む生活必需品購入のた

めの現金給付を実施した。加えて 2023525 年 3 月～6 月には地域の主幹産業である農業(綿花)の復興を後押しするために、脆弱性の高い小規模農家 525 世帯を対象に、再開資金、肥料、種子、農具などを供与した。

■ 開発支援事業

<ベトナム北部：チエムホア県災害レジリエンス向上事業>

外務省 NGO 連携無償資金協力から助成を受け、洪水・土砂災害被害が多発するトゥエンクアン省チエムホア県において、地方政府のリスクアセスメント並びにコミュニティの自主防災計画策定支援の能力強化を通じて地域の包括的な災害対応能力向上を目的とした活動を実施した。活動内容は防災副読本の作成、学校における雨量観測、護岸工の設置、地すべりをはじめとしたリスクのモニタリング、及び自主防災計画策定を実施した。本事業によって地方政府のリスクアセスメント並びにコミュニティの自主防災計画策定支援の能力が強化され、コミュニティの災害リスク削減における意識・知識・スキルも向上した事を確認した。

<パキスタン、シンド州干ばつ等対応防災力向上事業>

2019 年 1 月に開始した干ばつに関する防災力向上事業が 2022 年 10 月に終了した。3 年間で乾燥地帯の 24 村を対象に、引き続き井戸の掘削と貯水タンクの設置、村の防災委員会の能力強化などを実施し、支援対象村の災害対応力向上と災害リスク軽減を図った。これに加え、シンド農業大学と密接に連携しながら、政府機関、防災関係者、研究機関に対して、水源特定に関する衛星写真解析や電気探査の技術移転のための研修を実施した成果を、2022 年 8 月にナショナル防災セミナーで報告し、これまでの知見を技術仕様書（テクニカルフレームワーク）としてとりまとめた。

<アフガニスタン防災力向上に向けた人材育成事業>

新型コロナやアフガニスタンの政変という大混乱によって、3 か月遅れで第 2 年次が開始された。第 2 年次も引き続き、全ての技術研修が日本からのオンライン形式によって開催されながらも、計画どおり、ナンガハール県において 110m の防護壁と 10 基の砂防ダム工事が 2023 年 3 月までに完了することができた。また、カブール大学環境学部内に新たに設立される防災専門コースのカリキュラム開発にも協力した。

<ATIH (ADRRN Tokyo Innovation Hub) >

アジアにおけるローカル NGO を主体とした人道、防災分野のイノベーションを生み出すべく、フィリピン、インドネシア、インドの防災イノベーターへの支援を行った。具体的には 30 を超えるイノベーション案件の伴走支援の他、資金提供、コンプライアンス徹底を通じて、対象国の防災イノベーション環境整備に寄与した。

<公的支援にアクセスしにくい難民・移民のための伴走支援事業>

「平時の社会的弱者は潜在的災害弱者でもある」と言う仮説を立て、対象地域において、平時から公的支援にアクセスしにくい難民・移民に生活支援を開始した。2023 年 2 月には、外国人相談会を新大久保の関係教会を会場に主催した。相談者の多くは在留資格がない仮放免者が多く、就労できず行政サービスも受けられないことから生活支援が必要である。そこで、その後のフォローアップとして様々な伴走支援（医療費・住宅家賃補助・各種同行支援）も開始した。

<難民・移民・市民が出会い・つながるコミュニティカフェ事業>

東京都新宿区の多文化地域において、市民・難民・移民・支援者が出会い・つながる場づくりを通して、地域コミュニティが潜在的な脆弱層である彼ら/彼女らにとってのセーフティーネットとなることを目指し、コミュニティ・カフェ@大久保を開設した。当該カフェは月 2 回、第 1・第 3 水曜日の 13:00-17:00 に日本ルーテル東京教会のスペースを借りて運営している。同スペースにて、ミニコンサート、各種ワークショップ、料理教室などのイベントを開催して、カフェの認知度向上と、地域内の人々の接点作りを行った。他にも、脆弱な外国人向けに日本語学習支援をしたり、生活相談の窓口も設けて、彼ら/彼女らとの信頼関係構築にも繋がっている。これらの活動によって、徐々に常連が出てくるなど地域内での認知度が向上し、カフェに通う外国人もでてきた。

<その他開発支援事業>

CWS グローバルのテクニカルユニットの一員として、CWS Japan は防災の技術的な底上げを期待されるようになり、今期から CWS グローバル及びローカルパートナーに対する技術支援を行った。また、アジア閣僚級防災会議や Regional Humanitarian Partnership Week の共催など、CWS Japan が取り組む防災・減災・イノベーション等に関連したアドボカシーやイベント開催も行った。

■ NPO の能力強化支援事業

<NGO2030>

NGO2030 とは、日本における NGOs の成長の方法性を示し、社会におけるその存在の価値を高めることを目的として、国際協力 NGO の組織や個人で構成されるワーキンググループである。その取り組みの一環として、NGO 業界で話題となっている G7/C7 関連のアップデートや Anticipatory Action、NGO 塾に関するウェビナーを実施した。

<人道支援基準作成・普及>

スフィアをはじめとした人道支援における国際基準の普及に引き続き努め、研修実施や教材開発等に寄与した。具体的には、日本におけるスフィアのフォーカルポイントである支援の質とアカウントビリティ向上ネットワーク (JQAN) の代表を引き続き CWS が担っただけでなく、JQAN が主催するスフィア研修講師を複数回にわたって担当した。加えて、スフィアの関連基準である子どもの保護のための最低基準 (CPMS) の講師も担当した他、近年、援助関係者の中で課題とされている「性的搾取・虐待・ハラスメントからの保護(PSEAH)」ワーキンググループをリードし、研修講師およびシンポジウム等での講演も行った。日本の人道支援関係者がこれの研修を受ける機会を増やすことにも貢献した。また、東日本大震災における原子力発電所での複合災害の教訓を世界に伝えるべく、原発事故における人道支援の事例集を開始すべく、事業化に向けた準備を行った。

<その他 NPO の能力強化支援事業>

気候変動や人口移動に伴う地球規模課題の変容だけでなく、支援の現地化や援助者による性的搾取・虐待 (など、支援のあり方や新たな課題も注目されている。性的搾取・虐待・ハラスメントからの保護 (PSEAH) の研修チームをリードし、これまで日本で受講することが難しかった PSEAH 研修のモジュール開発に寄与した。また、国際協力財団と日本ファンドレイジング協会が共催するワークショップや研修の講師を務め、国際協力 NGO のファンドレイジングをはじめとした財政基盤強化に貢献した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用 445,054 千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
緊急支援	エキュメニカル防災・災害支援	2022年7月～2023年6月	日本	2	全国(国内)	130人	246,662
	ミャンマー人道危機支援支援	2022年8月～2023年3月	ミャンマー・タイ	3	同国全体	7,811人	

	アフガニスタン緊急人道支援	2022年7月～2023年6月	アフガニスタン	4	バーミヤン県、パクティカ県、ナンガルハル県	24,264人	
	フィリピン台風ライ被災者支援	2022年7月～10月	フィリピン	3	南レイテ州	15,000人	
	パキスタン洪水支援	2022年11月～2023年6月	パキスタン	4	シンド州	9,574人	
開発支援	ベトナム北部：チエムホア県災害レジリエンス向上事業	2022年7月～2023年5月	ベトナム	4	省・県の政府機関、大学、そしてコミュニティ	5,424人	197,996
	パキスタン、シンド州干ばつ等対応防災力向上事業	2022年7月～10月	パキスタン	3	シンド州ウマルコート県	1,530人	
	アフガニスタン防災力向上に向けた人材育成事業	2022年7月～2023年5月	アフガニスタン	3	ナンガハール県 ラグマン県	4,230人	
	ATI (ADRRN Tokyo Innovation Hub)	2022年7月～2023年6月	フィリピン、インドネシア、インド	3	フィリピン、インド、インドネシアのローカル NGO 等職員 イノベーション事業の受益コミュニティ対象者	300人 3000人	
	公的支援にアクセスしにくい難民・移民のための伴走支援事業	2022年10月～2023年6月	日本	2	東京都新宿区とその周辺	40人	

	難民・移民・市民が出会い・つながるコミュニティカフェ事業	2023年1月～6月	日本	2	東京都新宿区とその周辺	200人	
	その他開発支援事業	2022年7月～2023年6月	アジアを始めグローバル	1	イベント参加者や技術支援対象者	300	
NPOの能力強化支援	NGO2030	2022年7月～2023年6月	日本	4	日本の国際協力NGO	300人	396
	人道支援基準作成・普及	2022年7月～2023年6月	日本	2	日本の人道支援アクター全般	約200人	
	その他NPOの能力強化支援事業	2022年7月～2023年6月	日本	1	日本の国際協力NGO	約人	

(2) その他の事業
なし

以上

令和4年度 活動計算書
 令和4年7月1日～令和5年6月30日
 特定非営利活動法人 CWS Japan

(円)

科目	金額	
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取寄付金		
一般	28,470,153	
エキュメニカル防災・災害支援	32,799	
アフガニスタン支援	223,200	
パキスタン支援	7,901,400	
Technical Unit	4,861,800	
コミュニティカフェ運営	13,902	41,503,254
受取助成金等		
受取民間助成金	130,933,291	
受取政府助成金	282,997,601	413,930,892
その他収益		
受取利息	773	
雑収益	2,319,450	2,320,223
経常収益合計		457,754,369
(2) 経常費用		
事業費		
【人件費】		
給料手当	33,693,422	
通勤手当	635,780	
非居住者社保手当	374,400	
法定福利費	4,942,470	
福利厚生費	144,269	
【人件費計】	39,790,341	
【その他費用】		
謝金	8,729,418	
現地事業実施経費	254,388,212	
会議費	72,163	
旅費交通費	9,190,246	
負担金	100,000	
通信運搬費	777,494	
広告宣伝費	282,764	
消耗品費	43,259	
支援物資費	2,602	
支援金	644,020	
事務用品費	194,643	
教育研修費	35,000	
印刷製本費	5,870	
支払地代家賃	1,256,050	
賃借料	73,500	
保険料	3,246	
海外旅行傷害保険料	64,129	
支払会費	252,618	
委託費	120,408,085	
支払手数料	816,798	
外部監査報酬	5,842,009	
租税公課	51,300	
支払助成金	273,600	
為替差損	1,757,265	
【その他費用計】	405,264,291	
事業費計		445,054,632

令和4年度 活動計算書
 令和4年7月1日～令和5年6月30日
 特定非営利活動法人 CWS Japan

(円)

科目	金額	
管理費		
【人件費】		
給料手当	3,903,106	
通勤手当	105,840	
法定福利費	150,377	
福利厚生費	78,875	
【人件費計】	4,238,198	
【その他費用】		
会議費	88,461	
旅費交通費	1,212,621	
通信運搬費	423,384	
広告宣伝費	15,287	
事務用品費	346,035	
教育研修費	16,200	
印刷製本費	580	
支払地代家賃	106,010	
保険料	184,378	
支払会費	111,600	
委託費	1,306,636	
支払手数料	685,921	
外部監査報酬	715,000	
租税公課	4,300	
【その他費用計】	5,216,413	
管理費計		9,454,611
経常費用計		454,509,243
当期経常増減額		3,245,126
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
経常外収益合計		0
(2) 経常外費用		
経常外費用合計		0
税引前当期正味財産増減額		3,245,126
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		3,245,126
前期繰越正味財産額		28,004,136
次期繰越正味財産額		31,249,262

令和4年度 貸借対照表
 令和5年6月30日現在
 特定非営利活動法人 CWS Japan

(円)

科 目	金 額		
資産の部			
流動資産			
普通預金	179,172,645		
未収金	7,831,873		
前払費用	403,845		
仮払金	187,136,245		
立替金	1,085,591		
流動資産合計		375,630,199	
固定資産			
敷金	256,365		
固定資産合計		256,365	
資産合計			375,886,564
負債の部			
流動負債			
未払金	35,522,503		
前受金	307,108,598		
預り金	2,006,201		
流動負債合計		344,637,302	
負債合計			344,637,302
正味財産の部			
正味財産		31,249,262	
正味財産合計			31,249,262
負債及び正味財産合計			375,886,564

令和4年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 CWS Japan

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	緊急支援事業	開発支援事業	NPOの能力強化 支援事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						
1 受取寄付金	17,157,399	14,940,688	0	32,098,067	9,405,187	41,503,254
2 受取助成金等	230,394,542	183,536,350	0	413,930,892	0	413,930,892
3 その他収益						
受取利息	12	616	0	628	145	773
雑収益	533,457	819,543	669,060	2,022,060	297,390	2,319,450
経常収益計	248,085,410	199,297,177	669,060	448,051,647	9,702,722	457,754,369
II 経常費用						
(1) 人件費						
給料手当	16,225,431	17,163,069	304,922	33,693,422	3,903,106	37,596,528
通勤手当	496,934	138,846	0	635,780	105,840	741,620
非居住者社保手当	300,594	73,806	0	374,400	0	374,400
法定福利費	4,327,743	602,979	11,748	4,942,470	150,377	5,092,847
福利厚生費	127,710	16,559	0	144,269	78,875	223,144
人件費計	21,478,412	17,995,259	316,670	39,790,341	4,238,198	44,028,539
(2) その他経費						
謝金	1,233,990	7,495,428	0	8,729,418	0	8,729,418
現地事業実施経費	202,202,729	52,185,483	0	254,388,212	0	254,388,212
会議費	40,854	31,309	0	72,163	88,461	160,624
旅費交通費	2,415,327	6,771,773	3,146	9,190,246	1,212,621	10,402,867
負担金	100,000	0	0	100,000	0	100,000
通信運搬費	342,798	434,336	360	777,494	423,384	1,200,878
広告宣伝費	191,787	90,977	0	282,764	15,287	298,051
消耗品費	0	43,259	0	43,259	0	43,259
支援物資費	0	2,602	0	2,602	0	2,602
支援金	38,296	605,724	0	644,020	0	644,020
事務用品費	42,153	152,490	0	194,643	346,035	540,678
教育研修費	5,000	30,000	0	35,000	16,200	51,200
印刷製本費	900	4,970	0	5,870	580	6,450
支払地代家賃	781,609	466,159	8,282	1,256,050	106,010	1,362,060
賃借料	0	73,500	0	73,500	0	73,500
保険料	1,980	1,266	0	3,246	184,378	187,624
海外旅行傷害保険料	11,930	52,199	0	64,129	0	64,129
支払会費	160,918	25,000	66,700	252,618	111,600	364,218
委託費	13,398,865	107,009,220	0	120,408,085	1,306,636	121,714,721
支払手数料	198,721	617,417	660	816,798	685,921	1,502,719
外部監査報酬	3,690,100	2,151,909	0	5,842,009	715,000	6,557,009
租税公課	32,200	19,100	0	51,300	4,300	55,600
支払助成金	273,600	0	0	273,600	0	273,600
為替差損	20,608	1,736,657	0	1,757,265	0	1,757,265
その他経費計	225,184,365	180,000,778	79,148	405,264,291	5,216,413	410,480,704
経常費用計	246,662,777	197,996,037	395,818	445,054,632	9,454,611	454,509,243
当期経常増減額	1,422,633	1,301,140	273,242	2,997,015	248,111	3,245,126

3. 用途等が制約された寄付等の内訳

用途等が制約された寄付金等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は31,249,262円ですが、そのうち2,569,558円はアフガニスタン支援、R&D防災メソッド事業、パキスタン支援、Technical Unit事業、コミュニティカフェ事業に使用される財産です。したがって、用途が制約されていない正味財産は28,679,704円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
指定寄付	8,171,546	13,000,302	18,602,290	2,569,558	
HIF・ADRRN東京イノベーションハブ(ATIH) (第2フェーズ)事業	0	4,370,490	4,370,490	0	当期に交付を受けた4,370,490円の全額を当期に収益計上しています。
ELRHA・CLIP事業	0	107,605,784	107,605,784	0	前期に前受金として貸借対照表に計上した6,762,370円と、当期に交付を受けた105,681,377円のうち、4,837,963円は前受金として貸借対照表に計上しています。
JPF・フィリピン台風ライズ支援事業	0	17,428,100	17,428,100	0	前期に前受金として貸借対照表に計上した17,558,254円のうち、次期に返還予定の130,154円を差し引いた金額を、当期に収益計上しています。
赤い羽根・公的支援にアクセスしにくい難民・移民のための伴走支援事業	0	1,187,254	1,187,254	0	当期に交付を受けた1,260,000円のうち、72,746円は前受金として貸借対照表に計上しています。
ブリチストン・難民・移民・市民が出会い・つながるコミュニティカフェ事業	0	341,663	341,663	0	当期に交付を受けた999,880円のうち、658,217円は前受金として貸借対照表に計上しています。
外務省・日本NGO連携無償資金協力 ベトナム災害レジリエンス向上(2年次)事業	0	10,850,543	10,850,543	0	前期に前受金として貸借対照表に計上した14,066,222円のうち、次期に返還予定の3,215,679円を差し引いた金額を、当期に収益計上しています。
外務省・日本NGO連携無償資金協力 パキスタン防災力向上(3年次)事業	0	45,690,221	45,690,221	0	前期に前受金として貸借対照表に計上した47,409,272円のうち、次期に返還予定の1,719,051円を差し引いた金額を、当期に収益計上しています。
JPF・アフガニスタンIDP・帰還民支援1事業	0	63,962,467	63,962,467	0	前期に前受金として貸借対照表に計上した63,962,467円的全額を、当期に収益計上しています。
JPF・アフガニスタン越冬支援事業	0	33,134,865	33,134,865	0	前期に前受金として貸借対照表に計上した33,998,467円のうち、次期に返還予定の863,602円を差し引いた金額を、当期に収益計上しています。
外務省・日本NGO連携無償資金協力 アフガニスタン防災力向上 第2フェーズ(2年次)事業	0	4,935,206	4,935,206	0	前期に前受金として貸借対照表に計上した56,590,339円のうち、当期に使用した4,935,206円を差し引いた51,655,133円を前受金として貸借対照表に計上しています。
外務省・日本NGO連携無償資金協力 ベトナム災害レジリエンス向上(3年次)事業	0	8,985,189	8,985,189	0	前期に前受金として貸借対照表に計上した28,094,248円から、当期に使用した8,985,189円を差し引いた19,109,059円を前受金として貸借対照表に計上しています。
JPF・ミャンマーIDP・タイ避難民事業	0	29,886,525	29,886,525	0	当期に交付を受けた29,992,592円のうち、次期に返還予定の106,067円を差し引いた金額を、当期に収益計上しています。
JPF・アフガニスタン食糧支援1事業	0	43,182,816	43,182,816	0	当期に交付を受けた43,333,333円のうち、次期に返還予定の150,517円を差し引いた金額を、当期に収益計上しています。
JPF・アフガニスタンIDP・帰還民支援2事業	0	4,019,812	4,019,812	0	当期に交付を受けた68,388,745円のうち、64,368,933円は前受金として貸借対照表に計上しています。
JPF・パキスタン洪水1事業	0	33,694,953	33,694,953	0	当期に交付を受けた40,000,000円のうち、次期に返還予定の6,305,047円を差し引いた金額を、当期に収益計上しています。
JPF・アフガニスタン東部地震事業	0	1,469,108	1,469,108	0	当期に交付を受けた30,000,000円のうち、28,530,892円は前受金として貸借対照表に計上しています。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
JPF・パキスタン洪水2 事業	0	3,444,918	3,444,918	0	当期に交付を受けた30,000,000円のうち、26,555,082円は前受金として貸借対照表に計上しています。
JPF・アフガニスタン食糧支援2 事業	0	170,978	170,978	0	当期に交付を受けた31,163,786円のうち、30,992,808円は前受金として貸借対照表に計上しています。
外務省・日本NGO連携無償資金協力 アフガニスタン防災力向上 第2フェーズ(3年次) 事業	0	515,500	515,500	0	当期に交付を受けた80,843,265円のうち、80,327,765円は前受金として貸借対照表に計上しています。
エキュメニカル防災・災害支援事業 寄付金	0	32,799	32,799	0	前期に前受金として貸借対照表に計上した32,799円的全額を、当期に収益計上しています。
合計	8,171,546	427,909,493	433,511,481	2,569,558	

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
投資その他の資産 敷金	256,365	-	-	256,365	-	256,365
合計	256,365	-	-	256,365	-	256,365

5. その他特定非営利活動法人の資産、負債、及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給料手当、法定福利費、支払地代家賃については従事時間割合に基づき按分しています。

令和4年度 財産目録
 令和5年6月30日現在
 特定非営利活動法人 CWS Japan

(円)

科目	金額	
資産の部		
流動資産		
普通預金		
三菱UFJ銀行 神田支店(918)	431,533	
三菱UFJ銀行 神田支店(966)	10,668,954	
三菱UFJ銀行 神田支店(767)	2,021,228	
三菱UFJ銀行 神田支店(USD543)	9,649,962	
三菱UFJ銀行 神田支店(754)	11,020,824	
三菱UFJ銀行 神田支店(765)	6,792,052	
三菱UFJ銀行 神田支店(944)	8,434,620	
三菱UFJ銀行 神田支店(959)	1,548,203	
三菱UFJ銀行 神田支店(800)	7,958,383	
三菱UFJ銀行 神田支店(813)	2,469,739	
三菱UFJ銀行 神田支店(871)	869,200	
三菱UFJ銀行 神田支店(304)	8,365,420	
三菱UFJ銀行 神田支店(429)	455	
三菱UFJ銀行 神田支店(489)	5,710,771	
三菱UFJ銀行 神田支店(385)	3,510,646	
三菱UFJ銀行 神田支店(986)	80,843,265	
三菱UFJ銀行 神田支店(595)	14,463,577	
三菱UFJ銀行 神田支店(581)	4,097,918	
ゆうちょ銀行 早稲田通支店(854)	315,895	
普通預金計	179,172,645	
未収金		
アフガニスタン帰還民支援3事業 現地資金	521	
パキスタン防災1年次事業 現地資金	138,900	
アフガニスタン干ばつ2事業 現地資金	2,507,892	
アフガニスタン新型コロナ事業 現地資金	1,237,345	
パキスタン防災2年次事業 現地資金	1,404,754	
アフガニスタン事業 現地資金	287,805	
パキスタン洪水1事業 現地資金	2,110,892	
ミャンマーIDP事業 現地資金	62,664	
アフガニスタン防災事業 航空運賃等	81,100	
未収金計	7,831,873	
前払費用		
事務所家賃	126,005	
労働保険料	27,619	
ホームページ/メール/WEBサービス費用/電話	50,421	
社会保険・労働保険事務委託 会費・手数料	85,000	
移住連会費	9,000	
セイエン 認定NPO法人振興会 会費	29,700	
ATIH事業費	1,100	
JPF NGOユニット会費	75,000	
前払費用計	403,845	
仮払金		
アフガニスタン防災Phase2 2年次事業 現地送金額	43,617,971	
ベトナム災害3年次事業 現地送金額	15,233,420	
アフガニスタンIDP・帰還民2事業 現地送金額	53,734,191	
アフガニスタン東部地震事業 現地送金額	24,274,092	
パキスタン洪水2事業 現地送金額	25,899,082	
アフガニスタン食糧支援2事業 現地送金額	24,356,556	
団体リーフレット費用	20,933	
仮払金計	187,136,245	
立替金		
ELRHA (YEU)	1,085,591	
立替金計	1,085,591	
流動資産合計		375,630,199
固定資産		
敷金 日本キリスト教会館	256,365	
固定資産合計		256,365
資産合計		375,886,564

令和4年度 財産目録
 令和5年6月30日現在
 特定非営利活動法人 CWS Japan

(円)

科 目	金 額	
負債の部		
流動負債		
未払金		
社会保険料	508,522	
給与・謝金	17,800	
スタッフ立替経費	937,497	
アフガニスタン干ばつ1事業 現地追加送金	38,155	
パキスタン害虫2事業 返還助成金	198,396	
セロージャ事業 返還助成金/現地追加送金	2,313,530	
パキスタン防災3年次事業 返還助成金/現地追加送金	8,076,247	
パキスタン洪水1事業 監査報酬/返還助成金	6,635,047	
アフガニスタンIDP・帰還民1事業 現地追加送金	6,089,155	
アフガニスタン越冬支援事業 返還助成金/現地追加送金	3,475,873	
ミャンマーIDP事業 監査報酬/返還助成金	436,067	
アフガニスタン食糧支援1事業 監査報酬/返還助成金/現地追加	4,208,366	
フィリピン台風ライ事業 返還助成金/現地追加送金	1,686,597	
アフガニスタンIDP・帰還民2事業 現地追加送金	187,104	
通信/サーバー/WEBサービス費用	63,163	
アフガニスタン防災Phase2 3年次事業費	2,500	
CLIP事業費	302,602	
アフガニスタン東部地震事業費	200,000	
広報・ファンドレイジング費用	90,882	
教育研修費用	7,000	
赤い羽根事業費	10,000	
NCC負担金	25,000	
保険料	13,000	
未払金計	35,522,503	
前受金		
CLIP事業 助成金	4,837,963	
ベトナム災害3年次事業 助成金	19,109,059	
アフガニスタン防災Phase2 2年次事業 助成金	51,655,133	
赤い羽根事業 助成金	72,746	
ブリヂストン事業 助成金	658,217	
パキスタン洪水2事業 助成金	26,555,082	
アフガニスタン食糧支援2事業 助成金	30,992,808	
アフガニスタン東部地震事業 助成金	28,530,892	
アフガニスタンIDP・帰還民2事業 助成金	64,368,933	
アフガニスタン防災Phase2 3年次事業 助成金	80,327,765	
前受金計	307,108,598	
預り金		
源泉所得税	1,362,383	
社会保険料	496,930	
雇用保険料	21,188	
住民税	125,700	
預り金計	2,006,201	
流動負債合計		344,637,302
負債合計		344,637,302
正味財産		31,249,262

令和4年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 CWS Japan

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

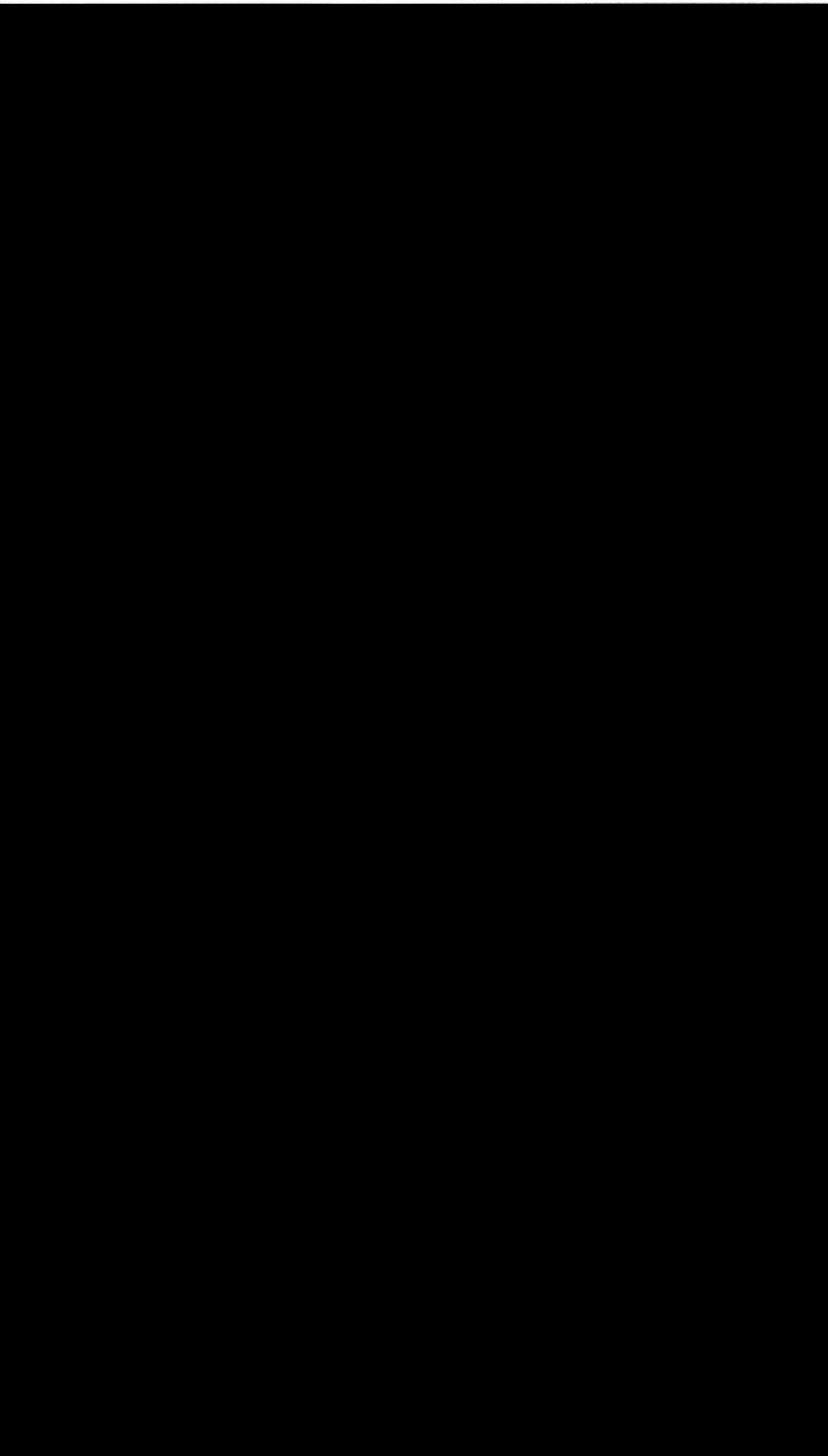
- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○理事・監事	ショウ ラジブ		令和4年7月1日 ～ 令和5年6月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		ショウ ラジブ			
2	○理事・監事	コノ タケシ		令和4年7月1日 ～ 令和5年6月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		小美野 剛			
3	○理事・監事	オオハシ マサキ		令和4年7月1日 ～ 令和4年9月28日	年 月 日 ～ 年 月 日
		大橋 正明			
4	○理事・監事	リュウ シノスケ		令和4年7月1日 ～ 令和5年6月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		龍 信之助			
5	○理事・監事	タジマ マコト		令和4年7月1日 ～ 令和5年6月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		田島 誠			
6	○理事・監事	レスリー・ウィルソン		令和4年7月1日 ～ 令和4年9月28日	年 月 日 ～ 年 月 日
		レズリー・ウィルソン			
7	○理事・監事	コイ ヒカリ		令和4年7月1日 ～ 令和5年6月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		小海 光			
8	○理事・監事	キャサリン・リーバーク		令和4年9月28日 ～ 令和5年6月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		キャサリン・リーバーク			
9	理事 ○監事	モトカ ショウ		令和4年7月1日 ～ 令和5年6月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		元川 士郎			
10	理事・○監事	コマツタ サダトシ		令和4年7月1日 ～ 令和5年6月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		小松田 貞利			

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 CWS Japan

	氏名	
1	小美野 剛	
2	モーリス・A・ブローム (Maurice A. Bloem)	
3	パピンダ・カエウノイ (Paphinda Kaewnoi)	
4	大橋 正明	
5	ショウ ラジブ	
6	龍 信之助	
7	田島 誠	
8	レズリー・ウィルソン (Leslie Wilson)	
9	小海 光	
10	ダグラス・スミス (Douglas Smith)	
11	キャサリン・リーバーグ (Katherine Rehberg)	
12		